

別添資料2-1 事業対象地の概要

項目	国の敷地	市の敷地
所在地	千葉県香取市佐原イ 4051-3 他 (本宿耕地地先)	千葉県香取市佐原イ 3981-2 他 (本宿耕地地先)
敷地面積	約 165,000 m ² (図上計測による)	4,242 m ² (丈量図より)
地域地区	都市計画区域 (用途無指定)	
建ぺい率	60%	
容積率	200%	
建築基準法	第 22 条区域	
高規格堤防特別区域	一部指定	全域指定
自然公園法	水郷筑波国定公園 (第 3 種特別地域)	-

別添資料2-2 事業対象施設の概要

施設名	項目	内容	
MIZBESTEーション (河川防災ステーション)	概要	面積	約 4.5ha
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	国（大型駐車場・芝生広場は市）
	機能	<p>水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄し、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保する施設。洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々のレクリエーションの場、及び河川を中心とした文化活動の拠点として活用される施設である。</p> <p>構成施設：ヘリポート、大型駐車場、資材置場、芝生広場等</p>	
車両倉庫	概要	建築構造	S 造 1 階
		建築面積	約 360 m ²
		延床面積	約 360 m ²
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	国
	機能	災害時に利用する災害対策車両及び関連する備品を保管する施設である。	
河川利用情報発信施設 (川の駅)	概要	建築構造	S 造 2 階（水辺交流センターとの合築建物）
		建築面積	約 1,080 m ²
		延床面積	約 1,490 m ²
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	国
	機能	<p>災害時には国の防災センターとして河川情報を収集し現地の指令を行う他、自治体及び関係機関、協定会社と連携した災害対策活動を行う場として災害対策支援室、待機室、給湯室、便所及び洗面所、河川情報室、倉庫等を備えた施設である。同施設の平常時の有効利用を目的に災害情報や防災意識の高揚等に資する施設として防災教育常設展示室（利根川下流域における河川改修と浚渫事業の歴史をテーマとした展示及び収蔵）等として活用する施設である。</p>	

施設名	項目	内容	
水辺交流センター (川の駅)	概要	建築構造	S 造 2 階 (河川利用情報発信施設との合築建物)
		建築面積	約 440 m ²
		延床面積	約 830 m ²
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	市
		施設管理者	市
	機能	車両倉庫、河川利用情報発信施設と連携して機能する市の水防センターとして管理室、更衣室・給湯室、水防従事者控室、水防従事者休憩室、情報収集室、水防倉庫、水辺学習備品倉庫、便所等が整備されている。同施設の平常時の有効利用を目的に佐原河岸の利用者や水辺レクリエーションのための利便施設として管理室、総合案内所、飲食施設（建設の一部及び維持管理・運営は付帯事業）、休憩室・便所・ロッカー室、シャワー室、多目的研修室、来訪者用便所を備えた施設である。	
地域交流施設 (道の駅)	概要	建築構造	S 造 2 階
		建築面積	約 1,300 m ²
		延床面積	約 1,412 m ² (うち増築部分 302 m ²)
		竣工	平成 21 年 (増築：平成 29 年)
		施設所有者	市
		施設管理者	市
	機能	以下の 2 施設が「道の駅」として整備されている。 1) 交通安全施設 24 時間利用できる便所、案内コーナー、公衆電話等を整備し、道の駅の登録要件を満たす施設である。 2) 地域振興施設 都市と農村の交流を促進する場として、特産物直売所、飲食施設を備えた施設である。	
エントランス広場	概要	面積	約 440 m ²
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	市
		施設管理者	市
	機能	河川利用情報発信施設・水辺交流センターと地域交流施設の間に景観に配慮したエントランス広場が整備されている。	

施設名		項目	内容	
修理ヤード	概要	面積	約 345 m ²	
		竣工	平成 21 年	
		施設所有者	市	
		施設管理者	市	
	機能	プレジャーボート等の簡易な修理等を行うためのオープンスペースが整備されている。		
河川環境施設	利用ゾーン（親水）・（湿地）	概要	面積	約 7.0ha
			竣工	平成 21 年
			施設所有者	国（※河川敷臨時駐車場を除く）
			施設管理者	市
		機能	利用ゾーン（親水）は、利根川河川敷の高水敷に水路・水辺が整備されており、親水空間の形成が図られている。また、水辺体験・環境学習の場等としてカヌー乗り場、観察用通路・礫場が整備され、保全・活用されている。またイベント時等に利用する河川敷臨時駐車場が整備されている。 利用ゾーン（湿地）は、従来型公共事業で整備された湿地と一体的に、観察用通路が整備されている。	
	佐原河岸	概要	面積	約 2.2ha
			竣工	平成 21 年
			施設所有者	国（※係留栈橋、舟運発着所を除く）
			施設管理者	国・市
		機能	佐原河岸は車両倉庫・河川利用情報発信施設・水辺交流センター、地域交流施設、利用ゾーンと接する河岸施設及び利根川水面（一部）の総称である。 従来型公共事業で整備されている環境護岸、船舶昇降スロープ及び緊急船着場等を活用し、これらの施設と一体的にボートヤード、係留栈橋、舟運発着所、水辺広場、ボードウォーク、転落防止柵、散策路が整備されており、水辺や水面の利用の場等として維持管理・運営を行っている。	